

創立74周年

令和6年度 10月号



咲かせよう大正の花

つなげよう大正の未来

台東区立大正幼稚園

HP: <https://taito.ed.jp/swas/index.php?id=1380011>



こころもからだも

園長 北村 恵

日中はまだまだ暑い日もありますが、やっと、朝晩の涼しさが気持ちよい日々になってきました。子供たちは気候の変化にとっても敏感なので、自然に園庭や砂場で遊ぶ姿が多くなってきています。そして、体を動かしたい気持ちが高まっているので、どのクラスの子供たちも様々な運動遊びに関わり、少し難しいことに挑戦しようとする姿が見られています。

うさぎ組の子供たちはダンスが大好きです。先生が教えてくれる新しいダンスもすぐに覚えてしまいます。先日、さっきまで泣いていた子供が、大好きなダンス曲が流れたとたん泣きやんで踊り始める姿が見られ、とても驚きました。今は「ダンスリトルバード」という、鳥のダンスがお気に入りなのですが、担任の先生の後を追いかけるように飛びまわっている姿がまるで親鳥の後をついていく小鳥のようで、本当にほほえましいです。

ぱんだ組の子供たちは、フープの様々な技に挑戦中です。そばを通りかかると「えんちょうせんせい！みてみて！」と必ず呼び止められます。腰で回して見せたり、縄跳びのようにぐるぐる回してジャンプしたり、床に置いて片手で回転させたり。誰かの姿を「すごい！そんなこともできるようになったの？」と褒めると途端に、そばにいた子供たちが同じ技に挑戦し始めます。「やってみたい」「できるようになりたい」「○○ちゃんよりもいっぱい回したい」一人一人が自分なりの目あてをもって挑戦しています。担任の先生たちの気持ちは「運動会で見せたい」なのですが、「練習」という言葉は使わず、子供たちのやりたい気持ちを自然に引き出しています。

5歳児になるとそこは少し変化します。10月12日が運動会ということ伝え、昨年の年長児の姿も思い出させながら、年長児としての役割を知らせたり見通しをもたせたりしていきます。リレーやダンス、チャレンジ競技、キッズソーランなど、自分たちが出場するものだけでなく、プラカードや体操係など係としての役割もあります。それらを決めていくときにもその子なりの「やりたい」を大切にしています。自分で決めたからこそ頑張れる。自分で決めたからこそ自覚的に役割を果たそうとします。

何回かりレーの練習をしているところを見ましたが、最初のうちは自分と一緒に走っている友達に勝ったことで喜んでいたり子供も、次第にチームで走る意味が分かってきています。自分は相手を抜いたにも関わらずにチームが負けたことに悔し涙を流す姿も見られました。年長児は運動会を経験することで、一回り大きく成長します。幼児期に、この様な、嬉しいも悔しいもたくさん経験して心も身体も大きくなって欲しいと願っています。